

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて 筋病理診断や血清学的検査を受けられて

自己免疫性筋炎と診断された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて、診断的検査で使用された凍結骨格筋、筋芽細胞、皮膚線維芽細胞、血清(または血漿)の一部を用いて研究を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し検体の一部を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の検体の一部を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

1978 年 01 月 01 日より 2031 年 3 月 31 日までの間に、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて筋病理診断や血清学的検査を受けられて自己免疫性筋炎と診断された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名: 国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属・氏名: 疾病研究第一部・西野 一三

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: マルチオミックス的アプローチによる炎症性筋疾患の全容解明

研究期間: 2026 年 04 月 01 日~2031 年 03 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部 西野 一三
(共同研究機関)

東京都立神経病院脳神経内科副院長 鈴木 重明

信州大学医学部内科学第三教室講師 漆葉 章典

東海大学医学部医学科医療倫理学 准教授 大貫 優子

国立健康危機管理研究機構 ゲノム医科学プロジェクト プロジェクト長 徳永 勝士

東京大学大学院 医学系研究科 遺伝情報学 教授 岡田 随象

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: 凍結骨格筋、ゲノム DNA、RNA、筋芽細胞、皮膚線維芽細胞、血清、血漿

(取得方法) 診療の一環で採取

情報等:年齢、性別、臨床病情報、遺伝子変異情報、遺伝子発現情報、画像データ

(取得方法) 過去の解析結果、診療録から入手、または解析結果により得た情報

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究の目的は、筋疾患診断支援事業で行った筋レポジトリを基盤とし、超並列シーケンス解析を含むマルチオミックス的アプローチを用いて炎症性筋疾患の診断確定及び、筋疾患の病因・病態解明を行います。これらにより、依然として病態不明の炎症性筋疾患全容を明らかにするとともに治療法開発への基盤形成を行うことを目的としています。これらにより、新たな治療法の開発、および、これまで確定診断がつかず有効な治療を受けられなかった方に対する診断の一助となることが期待されます。全ての解析は国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部、メディカル・ゲノムセンターおよび共同研究機関で行われます。

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

解析データは公的な制限公開データベースに登録され、共有が進むと同意撤回に伴う情報の消去が困難になる場合があります。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立大学法人信州大学

所属: 医学部内科学第三教室(脳神経内科, リウマチ・膠原病内科)

氏名: 漆葉 章典

電話番号: 0263-37-2673

e-mail: sannai※shinshu-u.ac.jp (「※」を「@」に変更ください。)